



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森下 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 経理部長

(氏名) 山本 隆彦

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,202	27.9	△633	—	△579	—	△570	—
26年3月期第1四半期	1,722	△74.8	△1,007	—	△938	—	△591	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △245百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 268百万円 (△72.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△8.28	—
26年3月期第1四半期	△8.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	51,996	57.7	30,002	57.7	435.80	435.80	435.80	435.80
26年3月期	50,423	60.0	30,263	60.0	439.58	439.58	439.58	439.58

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 30,002百万円 26年3月期 30,263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想額は未定でございます。

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	160.9	△1,000	—	△1,000	—	△1,000	—	△14.53
通期	25,500	92.9	△1,900	—	△1,900	—	△1,800	—	△26.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	69,083,597 株	26年3月期	69,083,597 株
27年3月期1Q	238,613 株	26年3月期	237,423 株
27年3月期1Q	68,845,696 株	26年3月期1Q	68,850,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
4. 補足情報	P. 11
生産、受注及び販売の状況	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)における業績は、売上高が22億2百万円(前第1四半期連結累計期間売上高17億2千2百万円)と前年同期に比べ4億8千万円の増加となり、営業損失は6億3千3百万円(前第1四半期連結累計期間営業損失10億7百万円)となりました。また、経常損失は5億7千9百万円(前第1四半期連結累計期間経常損失9億3千8百万円)となり、四半期純損失は5億7千万円(前第1四半期連結累計期間四半期純損失5億9千1百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は20億1千万円(前第1四半期連結累計期間売上高15億3千万円)となり、営業損失は5億3千2百万円(前第1四半期連結累計期間営業損失8億8千7百万円)となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は1億9千2百万円(前第1四半期連結累計期間売上高1億9千2百万円)となり、営業利益は1億6千4百万円(前第1四半期連結累計期間営業利益1億6千4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は519億9千6百万円(前連結会計年度末504億2千3百万円)と15億7千2百万円の増加となりました。流動資産は主に仕掛品の増加により、368億9千6百万円(前連結会計年度末358億2百万円)と10億9千3百万円の増加となりました。固定資産は、150億9千9百万円(前連結会計年度末146億2千1百万円)と4億7千8百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は219億9千3百万円(前連結会計年度末201億6千万円)と18億3千2百万円の増加となりました。流動負債は主に前受金の増加により、171億8千9百万円(前連結会計年度末155億6千万円)と16億2千8百万円の増加となりました。固定負債は48億3百万円(前連結会計年度末45億9千9百万円)と2億4百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は300億2百万円(前連結会計年度末302億6千3百万円)と2億6千万円の減少となりました。その主な要因は四半期純損失の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の「決算短信」に記載致しました業績予想を下記のとおり変更しております。なお、第2四半期累計期間の業績予想に変更はありません。

(通期連結業績予想)

平成27年3月期通期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	26,500	△1,600	△1,600	△1,500
今回発表予想 (B)	25,500	△1,900	△1,900	△1,800
増減額 (B - A)	△1,000	△300	△300	△300
増減率 (%)	△3.8	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	13,219	△4,616	△4,462	△5,914

(修正理由)

米国ニュージャージー交通局向けLRV車両案件の受注時期が予想より遅れ、予定していた売上の一部が来期にずれ込むこととなったため、売上高が前回(平成26年5月9日)発表予想を下回る見込みです。主にそれに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みです。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が14百万円増加し、利益剰余金が14百万円減少しております。また、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,202	18,585
受取手形及び売掛金	3,793	1,821
有価証券	-	800
仕掛品	10,026	13,640
原材料及び貯蔵品	546	645
その他	1,243	1,409
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	35,802	36,896
固定資産		
有形固定資産	7,588	7,576
無形固定資産	96	97
投資その他の資産		
投資有価証券	5,948	6,537
その他	1,048	948
貸倒引当金	△61	△60
投資その他の資産合計	6,936	7,425
固定資産合計	14,621	15,099
資産合計	50,423	51,996
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,314	3,863
未払法人税等	15	12
前受金	7,531	8,679
賞与引当金	301	62
製品保証引当金	196	177
受注損失引当金	2,561	2,435
その他	1,639	1,959
流動負債合計	15,560	17,189
固定負債		
退職給付に係る負債	2,336	2,347
その他	2,263	2,455
固定負債合計	4,599	4,803
負債合計	20,160	21,993

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	21,134	20,550
自己株式	△97	△97
株主資本合計	29,414	28,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,428	1,808
為替換算調整勘定	42	△67
退職給付に係る調整累計額	△622	△567
その他の包括利益累計額合計	848	1,172
純資産合計	30,263	30,002
負債純資産合計	50,423	51,996



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,722	2,202
売上原価	2,109	2,028
売上総利益又は売上総損失(△)	△387	174
販売費及び一般管理費	620	808
営業損失(△)	△1,007	△633
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	52	55
為替差益	4	-
雑収入	7	10
営業外収益合計	69	70
営業外費用		
為替差損	-	15
雑支出	0	1
営業外費用合計	0	16
経常損失(△)	△938	△579
税金等調整前四半期純損失(△)	△938	△579
法人税、住民税及び事業税	1	2
法人税等還付税額	△76	△42
法人税等調整額	△272	30
法人税等合計	△347	△9
四半期純損失(△)	△591	△570

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
四半期純損失(△)	△591	△570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	380
繰延ヘッジ損益	1	-
為替換算調整勘定	700	△110
退職給付に係る調整額	-	55
その他の包括利益合計	860	324
四半期包括利益	268	△245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268	△245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	1,530	192	1,722	—	1,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	1,530	192	1,723	△0	1,722
セグメント利益又は損失(△)	△887	164	△722	△285	△1,007

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△285百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△285百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
1,130	493	51	47	1,722

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,010	192	2,202	—	2,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	2,010	193	2,203	△0	2,202
セグメント利益又は損失(△)	△532	164	△367	△266	△633

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△266百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△266百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
675	1,172	242	111	2,202

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	5,717	133.8
合計	5,717	133.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	1,983	93.7	104,774	222.9
合計	1,983	93.7	104,774	222.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	2,010	131.3
不動産賃貸事業	192	100.4
合計	2,202	127.9

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上